

介護福祉学科 [2年制 / 男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

介護福祉学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 介護を学ぶための基礎的な学力を身につけている人
- 3 協調性、主体性、素直に聞く態度、目標を達成しようとする態度を身につけている人
- 4 人の役に立ちたいという強い意欲を持つ人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

介護福祉学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 専門的な知識と技術の習得を図るため実践的カリキュラムを構成する
- 2 「学習の習慣」を身につけ、「自己効力感」を育て、「成長を実感」できる体験を提供する
- 3 介護福祉士としての使命感や責任、ホスピタリティマインドについて学べる場を提供する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

介護福祉学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる介護技術を身につけている
- 2 介護が必要な人の正しい理解と介護理論、福祉制度の専門的知識に裏付けられた支援を選択する判断力を身につけている
- 3 介護が必要な人に寄り添う温かい心、感謝の気持ちと笑顔、豊かな対話により周囲と協力を身につけている
- 4 根拠に基づいた、実践的な技能による、安全で安心な介護を身につけている

目指す資格

- 介護福祉士 [国家資格]
- 認知症ライフパートナー検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	<p>尊厳の重要性及び、障害や発達について理解できるようになる。また基本的な介護技術並びに、人体の仕組みについて学び、利用者とのコミュニケーションができ、観察ができるようになる。</p>	<p>利用者の全体像を理解し、学んだ介護技術を活用できるようになる。また、アセスメント、高齢者の特徴、ターミナルケア、喀痰吸引の基礎を理解できる。</p>	<p>社会制度の仕組みと、介護保険制度の概要を理解する。また実習において介護過程の展開ができ、利用者の方に喜ばれるレクリエーションを学ぶ。国家試験に向け知識を習得する。</p>	<p>基礎的な被服、調理の技術を習得し、安全な住生活について学習する。疾病や傷害に合わせた支援ができるように医療的ケア基礎研修を終え、点字や手話について学ぶ。また、国家試験合格を目指す。</p>
カリキュラム	<p>講義 人間の尊厳と自立</p> <p>講義 コミュニケーション技術 I</p> <p>講義 文章理解</p> <p>講義 介護の基本 I・II</p> <p>演習 生活支援技術 I</p> <p>講義 介護過程 I</p> <p>演習 介護総合演習基礎</p> <p>実習 介護実習 I・II</p> <p>講義 発達と老化の理解 I</p> <p>講義 認知症の理解 I</p> <p>講義 心とからだのしくみ I 心とからだ</p> <p>講義 心とからだのしくみ I からだ</p>	<p>講義 介護福祉総論</p> <p>講義 人間関係とコミュニケーション</p> <p>演習 生活支援技術 IV 介護予防とレクリエーション I</p> <p>講義 介護の基本 I・II</p> <p>講義 介護過程 II</p> <p>演習 介護総合演習 I</p> <p>演習 介護総合演習 II</p> <p>実習 介護実習 II</p> <p>講義 発達と老化の理解 II</p> <p>講義 認知症の理解 II</p> <p>講義 障害の理解 I</p> <p>講義 心とからだのしくみ II</p>	<p>講義 生活と福祉</p> <p>講義 社会保障制度</p> <p>講義 人間関係とコミュニケーション</p> <p>講義 コミュニケーション技術 II</p> <p>講義 介護の基本 III</p> <p>演習 生活支援技術 II</p> <p>演習 生活支援技術 III (家事の介護)</p> <p>講義 介護過程 II・III</p> <p>演習 介護総合演習 III</p> <p>実習 介護実習 II</p> <p>講義 障害の理解 II</p> <p>講義 心とからだのしくみ III</p> <p>講義 医療的ケア</p> <p>演習 医療的ケア演習</p>	<p>演習 生活支援技術 IV 介護予防とレクリエーション II</p> <p>演習 コンピュータリテラシー</p> <p>演習 生活支援技術 II (居住環境の整備)</p> <p>実習 生活支援技術 III (被服)</p> <p>実習 生活支援技術 III (調理)</p> <p>実習 生活支援技術 III (住居)</p> <p>実習 介護実習 I・II</p> <p>介護福祉士国家試験</p>
スケジュール	<p>入学前学習</p> <p>入学式</p> <p>交流会</p> <p>オリエンテーション</p> <p>4月</p> <p>5月 介護実習 I (通所系サービス実習)</p> <p>7月 穴吹祭</p> <p>8月 夏休み</p> <p>9月 スポーツ大会</p> <p>10月 介護実習 II (施設実習)</p> <p>12月 冬休み</p> <p>2月 介護実習 II (施設実習)</p> <p>3月 春休み</p>		<p>交流会</p> <p>4月</p> <p>5月 就職研修</p> <p>7月 穴吹祭</p> <p>8月 夏休み</p> <p>9月 スポーツ大会</p> <p>12月 冬休み</p> <p>1月 介護実習 I (在宅系サービス実習)</p> <p>2月 卒業制作展</p> <p>3月 卒業式</p>	

主な科目内容	
人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念を学ぶ。
人間関係とコミュニケーション	人間関係の発展や後退とコミュニケーションのあり方について学び、円滑なコミュニケーション方法や援助者としてのコミュニケーションの基礎について学ぶ。
生活と福祉	家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえる。
社会保障制度	社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を学び、介護保険制度の概要と、サービス利用までの流れを学習する。
文章理解	国家試験に対応できる文章力を養う。
コンピュータリテラシー	Word、Excel、PowerPointと、インターネットの安全な利用について学習する。
介護の基本 I・II・III	介護福祉士について、その制度、業務範囲、職業倫理、リスクマネジメントについて学ぶ。
コミュニケーション技術 I・II	基本的なコミュニケーション技術を学び、家族、利用者の状態に対応したコミュニケーション技術を習得する。
生活支援技術 I・II	基本的な介護技術を学び、自立支援について学習する。また利用者の状態に合わせた介護技術、福祉用具について学ぶ。
生活支援技術 II (居住環境の整備)	居住環境の整備、福祉用具の活用、利用者の環境整備の方法を学ぶ。
生活支援技術 III (家事の介護)	利用者の家事援助全般について学習する。
生活支援技術 III (被服)	基本的な裁縫技術を修得する。
生活支援技術 III (調理)	基本的な調理技術、献立の立て方などを学ぶ。
生活支援技術 III (住居)	安全な住宅をテーマに住居模型を作成し、利用者にとって快適な住居環境を学習する。
生活支援技術 IV 介護予防とレクリエーション I・II	レクリエーションプログラムの立案について学習し、自らレク支援が実践できるスキルを養う。
介護過程 I・II・III	介護過程の目的、意義、展開、アセスメント、介護計画の立案、実施、評価方法について学習し、個別性のある支援ができるスキルを養う。
介護総合演習基礎・I・II・III	介護実習に向けた注意点、記録の書き方、実習の取り組み方などを学習する。
介護実習 I・II	通所系、在宅系、施設実習において、介護福祉士としてのスキルを学習する。
発達と老化の理解 I・II	人間の成長と発達の基礎的理解を図り、老年の発達と成熟について学習し、高齢者の特徴について学ぶ。
認知症の理解 I・II	認知症を取り巻く状況、医学的側面、認知症の基礎について学習し、具体的支援方法を習得する。
障害の理解 I・II	障害の基礎的理解、医学的側面、具体的支援方法、家族への支援について学習する。
障害の理解 II (視覚障害者の理解)	視覚障害者の介助方法、点字について学習する。
障害の理解 II (聴覚障害者の理解)	聴覚障害者とのコミュニケーション方法、手話について学習する。
心とからだのしくみ I 心とからだ I からだ I・II	心とからだのしくみについて学習し、疾病についての知識を習得する。また様々な場面における人体の変化を学ぶ。
医療的ケア	医療職との連携のもとで、安全・適切に医療的ケアを実施できるよう、知識、技術を習得する。
医療的ケア演習	喀痰吸引、経管栄養の演習を行う。